



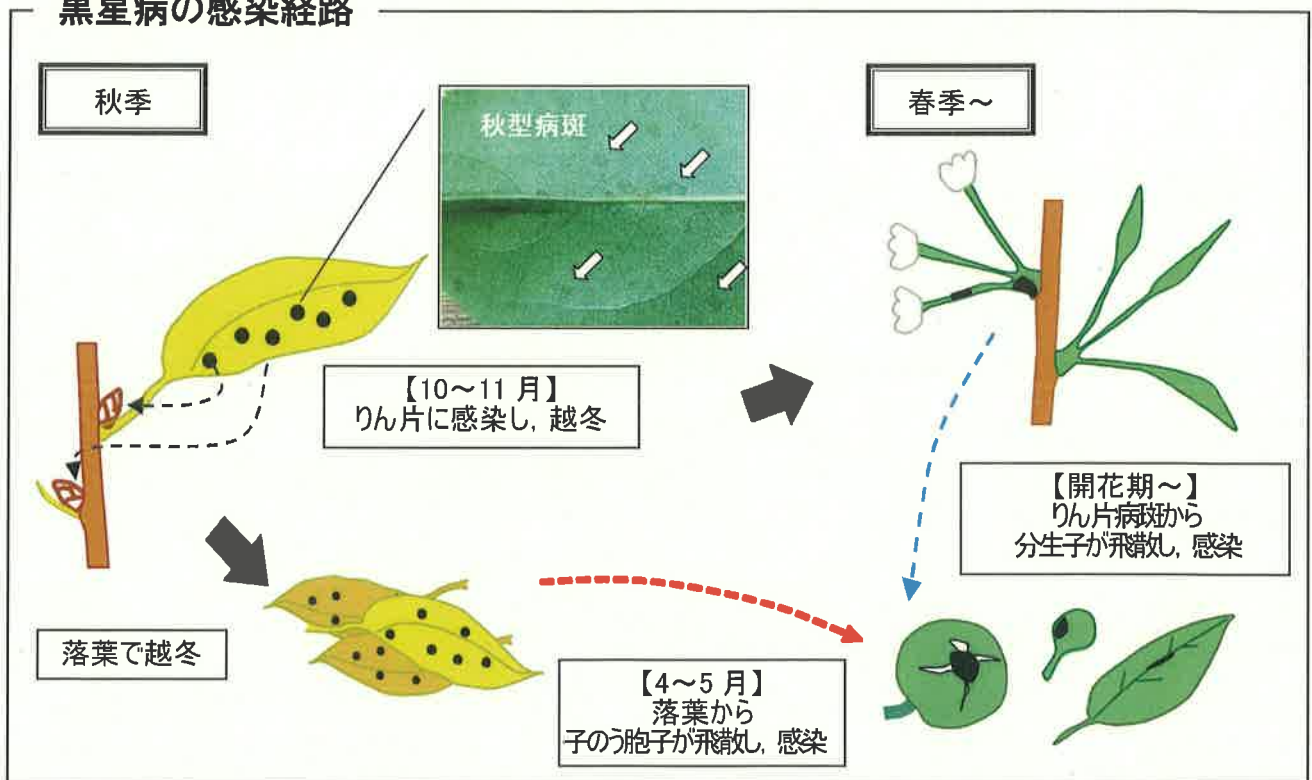
黒星病対策 ～秋季防除と落葉処理の徹底を～

1. 黒星病の感染経路と今秋の発生状況

黒星病の伝染源は、罹病落葉とりん片病斑です(下図)。どちらも秋に感染し、越冬して翌年の伝染源になりますので、秋季から冬季にかけての防除が重要です。

県病害虫防除所によると、9月下旬現在、ナシの葉における黒星病の発生は平年並みとのことですが、当部門管内のナシ園では、10月初旬現在、昨年よりも秋病斑の発生が多い園が見られます。各園の発生状況を確認し、発生状況に応じて対策を講じてください。

黒星病の感染経路



2. 対策

秋季防除と落葉処理により、来年の伝染源を減らしましょう。

① 秋季防除のポイント

- ♪ 防除回数は、**10月中旬以降、3回**を目標に実施しましょう。
- ♪ 散布のタイミングは、**降雨前**が効果的です。
- ♪ 農薬は、発育枝先端の芽に薬液が十分かかるよう(薬剤がりん片に達するよう)、**300L/10a**を目標に散布しましょう。
- ♪ 散布の際は、**毎列散布、縦横散布、園外周部のバック散布や補正散布など**により、散布ムラを最小限に抑えましょう。

② 落葉処理のポイント

- ♪ 園外への持ち出しや土中への鋤き込みの際は、**株元や園の周辺部にある落葉も忘れず**に処理しましょう。